

2022年3月期 通期 決算説明会資料



2022年6月10日

株式会社昭文社ホールディングス

証券コード: 9475

資料の内容

- | | | |
|---|----------------------|--------|
| 1 | 2022年3月期 通期 連結決算概要 | P3-11 |
| 2 | 2023年3月期 通期 連結業績の見通し | P12-14 |
| 3 | 参考資料 | P15-16 |

【本資料の記載数値・内容について】
百万円未満は切り捨てております。
%表示は小数第1位未満を四捨五入しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】
株式会社昭文社ホールディングス 取締役管理本部長 加藤 弘之
電話 03(3556)8171

資料の内容

1 2022年3月期 通期 連結決算概要

2023年3月期 通期 連結業績の見通し

2 参考資料

2022年3月期 通期 連結決算概要

前年にあった不動産事業の売上がなかったことや年間を通じてコロナウイルス感染症流行の影響を受け、売上高は大幅に減少。減損損失等を特別損失として計上したものの、前年に計上した特別損失の規模はなかったため、当期利益は改善。

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	単位:百万円 増減額	単位:百万円 増減率	2022年3月期 (通期予想)	単位:百万円 増減額
売上高	6,313	4,619	-1,694	-	5,300	-680
営業利益	-1,448	-1,407	41	-	-840	-567
(売上高比、以下同)	-22.9%	-30.5%			-15.8%	
経常利益	-1,415	-1,288	127	-	-760	-528
	-22.4%	-27.9%			-14.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	-2,374	-1,578	796	-	-860	-718
	-37.6%	-34.2%			-16.2%	
1株当たり当期純利益 (円)	-130.62	-86.82	43.80	-	-47.31	-

※上記予想は2021年11月5日発表

2022年3月期 通期 セグメント別利益(前期比較)

その他事業では、前年にあった大阪支社土地建物の売却による利益に相当する収益がなかったため売上・セグメント利益は大幅に減少。メディア事業・ソリューション事業では売上は減少したもののセグメント利益は改善。

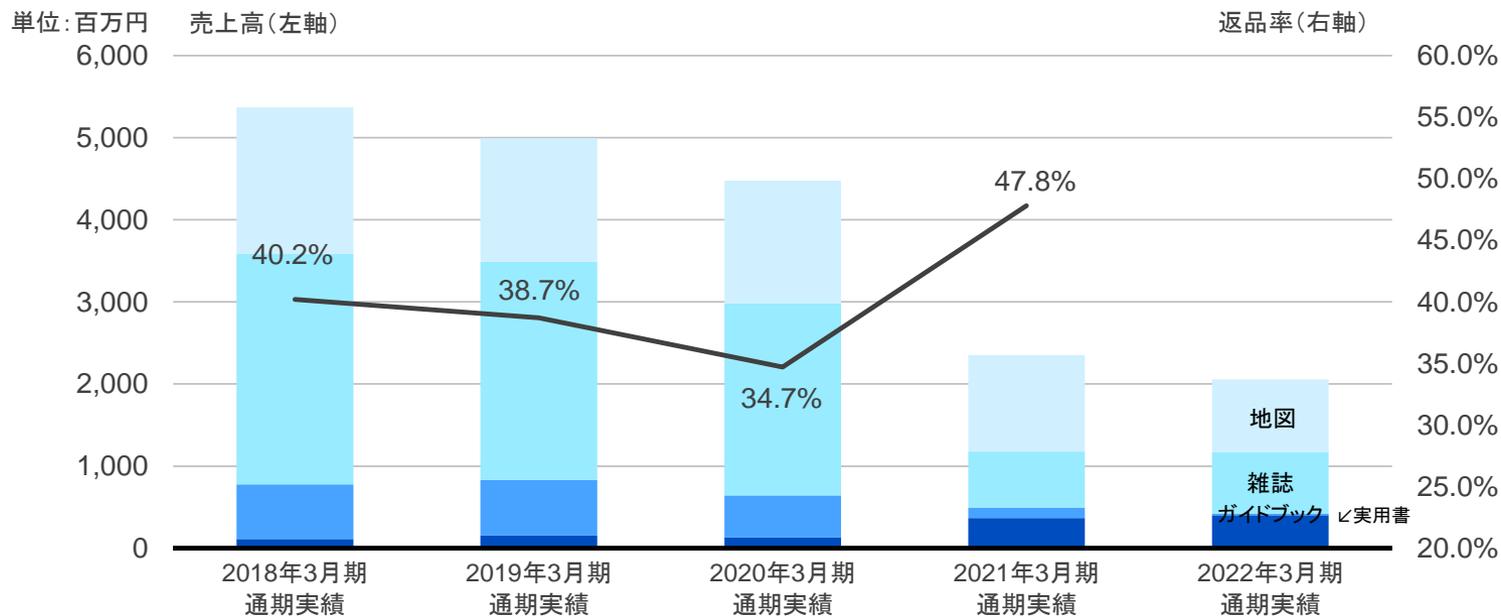
(セグメント別)	2021年3月期通期実績		2022年3月期通期実績		増減額	
	売上	利益	売上	利益	売上	利益
	単位:百万円					
メディア事業	3,348	-2,010	3,028	-1,631	-319	378
ソリューション事業	1,831	-183	1,644	0	-186	183
その他	1,466	515	217	-50	-1,248	-566
(セグメント取引額等調整額)	-332	228	-271	275	61	46
合計	6,313	-1,448	4,619	-1,407	-1,694	41

2022年3月期 通期 ハイライト

- メディア事業では、市販出版物において実用書・児童書ジャンルの出版物の構成比を高めつつ、アフターコロナの需要も想定し山と高原地図やツーリングマップルなどの定番商品を発売しました。
- ソリューション事業では、ウイズコロナ型商材の調達・開発・販売を積極的に行い、新たな収益の獲得を実現するとともに蓄電システム等の商材開発も強化しております。
- メディア事業を営む(株)昭文社にて希望退職者の募集を行いました。
- 観光事業を営む(株)MEGURUは第三者割当増資を実施したことにより、当社の株式持分比率低下したため子会社ではなくなりました。
- コールセンター事業を営む(株)Kuquluは全株式売却に伴い、子会社ではなくなりました。
- 東京証券取引所の新市場区分への移行については、当社グループを取り巻く環境等を総合的に勘案し、「スタンダード市場」を選択いたしました。

2022年3月期 通期 市販出版物売上高・返品率の推移

雑誌・実用書は前期に比べ増加したものの地図の減少に伴いトータルではマイナス。



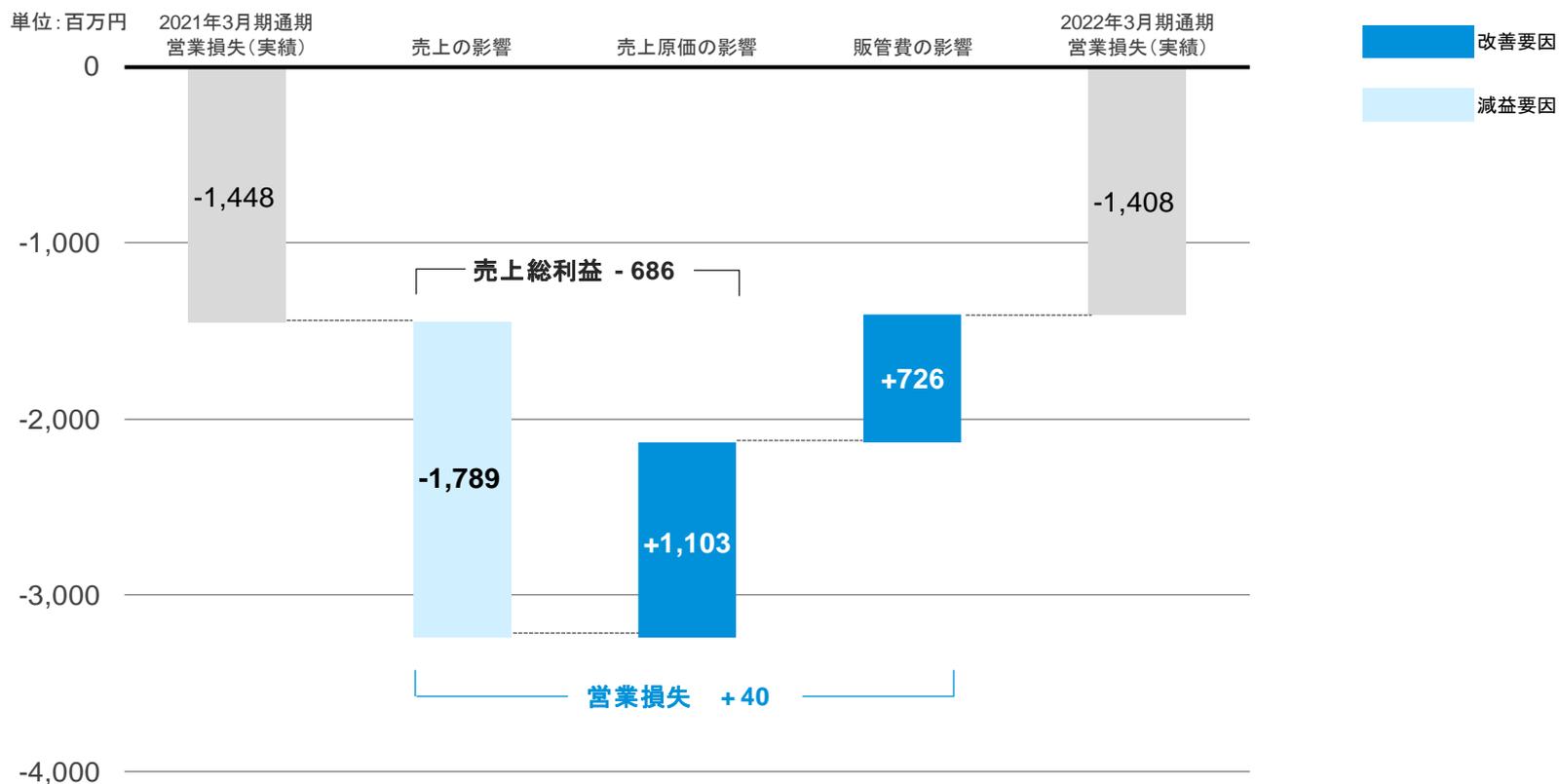
単位: 百万円

市販出版物売上高合計	5,372	4,992	4,478	2,354	2,058
地図	1,787	1,500	1,493	1,174	888
雑誌	2,804	2,658	2,339	681	746
ガイドブック	666	677	513	130	21
実用書	113	156	131	367	402
市販出版物返品率	40.2%	38.7%	34.7%	47.8%	-

※2022年3月期より「収益認識会計基準」等を適用しているため、前年との比較整合性を確保する観点から、同期より返品率の記載を行っておりません。

2022年3月期 通期 営業損益の増減分析(前期比較)

売上が大幅に減少したものの、売上原価及び販管費の改善により、営業損失は横ばい。



2022年3月期 通期 販管費・設備投資額・償却費の状況

販管費は費用削減効果により大幅に減少。償却費は前年に減損損失の計上があったことにより減少。

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	6,313	4,619	-1,694	-26.8%
販管費合計	2,870	2,144	-726	-25.3%
販売促進費	68	57	-10	-15.0%
広告宣伝費	35	9	-25	-71.7%
役員報酬	202	172	-29	-14.7%
従業員給与・賞与	996	815	-180	-18.2%
賞与引当金繰入額	102	116	13	12.8%
減価償却費	102	121	19	19.5%
研究開発費	17	0	-16	-97.3%
その他	1,345	849	-496	-36.9%
設備投資額合計	344	178	-165	-48.0%
有形固定資産	175	79	-95	-54.7%
無形固定資産	168	99	-69	-41.1%
償却費合計	269	196	-72	-26.8%
有形固定資産	152	165	12	8.4%
無形固定資産	116	31	-85	-73.1%

単位:百万円

2022年3月期 通期 連結貸借対照表

資産では、流動資産において売上高が減少したことに伴い現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少。負債では、流動負債において「収益認識に関する会計基準」等を適用に伴い返金負債が増加。

単位:百万円

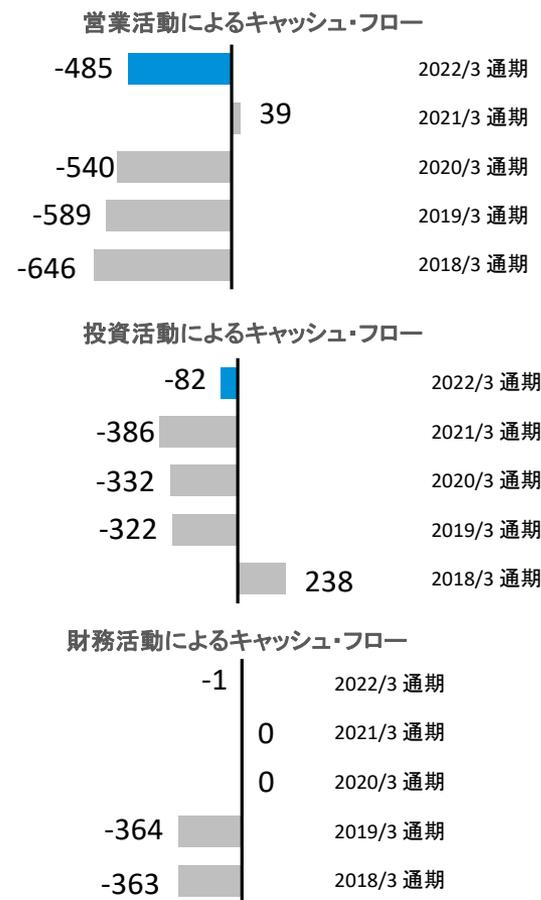
	2021年3月期末		2022年3月期末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	16,872	100.0%	15,250	100.0%	-1,621	
流動資産	7,847	46.5%	6,682	43.8%	-1,165	現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少
固定資産	9,024	53.5%	8,568	56.2%	-456	
負債合計	3,585	21.3%	4,788	31.4%	1,203	
流動負債	2,644	73.8%	3,852	80.5%	1,207	返品調整引当金の減少、返金負債の増加
固定負債	940	26.2%	936	19.5%	-4	
純資産合計	13,286	78.7%	10,461	68.6%	-2,825	
株主資本	12,405	93.4%	9,662	92.4%	-2,742	親会社株主に帰属する当期純損失の計上による利益剰余金の減少
その他の包括利益 累計額	881	6.6%	799	7.6%	-82	
負債・純資産合計	16,872	100.0%	15,250	100.0%	-1,621	

2022年3月期 通期 連結キャッシュ・フロー計算書

税金等調整前当期純損失は改善したものの売上債権の増減額と棚卸資産の増減額のマイナス影響を受け営業キャッシュ・フローは大幅にマイナス。

	2021年 3月期 通期実績	2022年 3月期 通期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	39	-485	-524	税金等調整前当期純利益 +659百万円 減損損失 -537百万円 返金負債 +382百万円 売上債権の増減額 -467百万円 棚卸資産の増減額 -534百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	-386	-82	303	有形固定資産の取得による支出 +167百万円 有形固定資産の売却による収入 +182百万円 無形固定資産の取得による支出 +158百万円 投資有価証券の取得による支出 -292百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	0	-1	0	
現金及び 現金同等物に係る 換算差額	6	-16	-23	
現金及び 現金同等物の 増減額(－は減少)	-341	-585	-244	
連結除外に伴う 現金及び現金同等物 の減少額	-	-73	-73	
現金及び 現金同等物の 四半期末残高 ※	4,629	3,970	-659	

単位:百万円 キャッシュ・フロー 過去5年間推移 単位:百万円



資料の内容

1 2022年3月期 通期 連結決算概要

2 2023年3月期 通期 連結業績の見通し

3 参考資料

2023年3月期 通期 連結業績の見通し(前期比較)

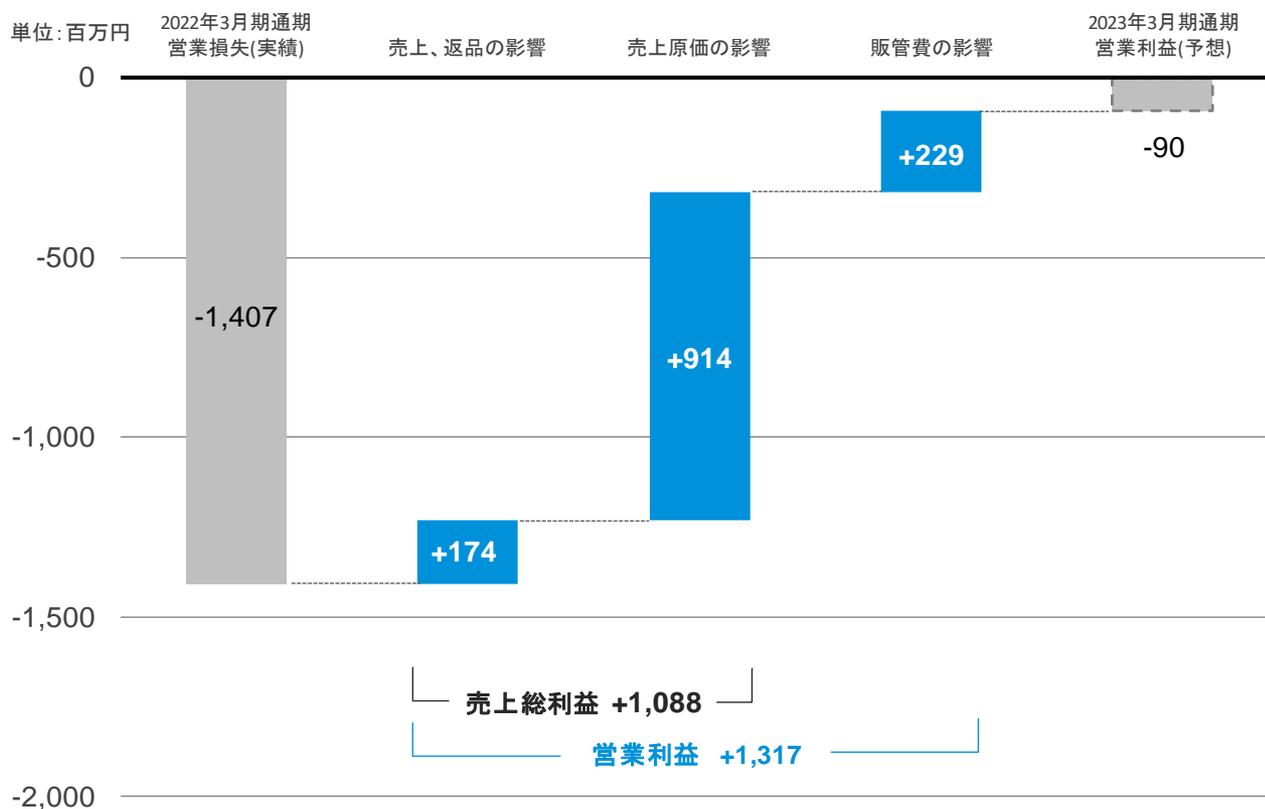
新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残り続けるため業績の急速な回復が見通せる状況にないことから親会社株主に帰属する当期純損失計上を見込む。

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	4,619	5,710	1,090	23.6%
営業利益 (売上高比、以下同)	-1,407 -30.5%	-90 -1.6%	1,317	-
経常利益	-1,288 -27.9%	-70 -1.2%	1,218	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,578 -34.2%	-100 -1.8%	1,478	-
1株当たり当期純利益 (円)	-86.82	-5.50	81.32	-

単位：百万円

2023年3月期 通期 営業利益の増減分析(前期比較)

売上高の改善は見込むものの新型コロナウイルス感染症の影響は残ることを想定し、営業利益はマイナスを見込む。



資料の内容

- 1 2022年3月期 通期 連結決算概要
 - 2 2023年3月期 通期 連結業績の見通し
-
- 3 参考資料
-

当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社4社、持分法適用関連会社2社の計7社で構成。
(2022年3月31日現在)

当社

社名	株式会社昭文社ホールディングス	
創業	1960年5月	
設立	1964年6月	
社員数	31人(2022年3月31日現在)	
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場	
本社所在地	東京都千代田区麴町三丁目1番地	
事業内容	グループ全体の経営戦略立案、企業価値向上および不動産事業、物流事業等を展開	

連結子会社

社名	株式会社昭文社	株式会社マップル
事業内容	地図・旅行情報等を基にしたメディアの企画・編集・制作・販売、広告、特注品制作、 著作権(ブランド)使用許諾	地図・ガイド情報等を基にしたデジタルデータベースの企画・制作・販売・使用許諾及びそれらを活用したサービスの提供事業
社名	株式会社マップル・オン	株式会社昭文社クリエイティブ
事業内容	モバイル(携帯・スマートフォン)向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業	当社電子事業であるデータベースの企画・制作

注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられますようお願いいたします。